

ずっと今の場所で住み続けるために

●介護保険のいま



「今いる場で生き続ける」をテーマに

ずっと頭にあって書こうと思っていたのですが、ハードな日々でしたから、中々書ける状態までになりませんでした。孫の病院通い等で何人もの方々にまるごと館の留守番もしていただき、お世話になりました。

やっとお盆休みになって、落ち着きました。今までの14年間にはなかったことです。年齢を重ねてきたということもあるでしょうが、丁度このテーマがぴったりとくる年齢になりました。前は「老いへの挑戦」と題して書きましたが、今回は高



齢者の置かれている状況や知らなければならぬ事等をこれから書いていけたらと思っています。よくご存じの方からは教わりたいです。

介護保険のこと

介護保険制度は2000年にスタートしました。それまでは各家庭でいわゆる嫁が介護を受け持っていました。当時それが当たり前で介護に関わっていた方はとても疲弊されていたことでしょう。ところが、三世帯世帯の減少で介護を担う人がいない家庭が増え、介護離職もあり、日々の生活がとても苦しかったんです。

その状態を何とかしようと「介護の社会化」の第一歩をめざして多くの方々が奮闘され、まだ十分ではなかったのですが、この制度が作られた。

八幡まるごと館だより

2023年8月20日/164号
＜発行＞八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい

八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

次の一歩 今いる場で生き続けるために(1)
まるごと館に参加される方々の中でおひとりの方が多いです。これから先どのように生きていったらいいのかがと声も聞こえてきます。今まで当たり前に出ていたことが少しずつ出来なくなりました。目が見えにくくなったり、足が弱ってこけそうになったり、重たいものが持てないために買い物もしんどい▼その状態に我慢ならず頑張らなアカンと思つて日々過すか。そんな自分の体の受けとめ方を自分で納得して確立してゆけば、今の自分の状態に向き合っているのでは。それは覚悟、いや勇気とも言えるように思っています▼若い方は介護保険など自分には関係ないと思つている方が多い。だから、年寄にはお金をかけないほうがいいとの意見がでてくるんです。いずれ自分も歳を取つてゆくの忘れてる。制度成立以前には本当に各家庭苦しかった。今は自分の親兄弟がこの制度を利用してゐるから、働くことができる▼介護保険の利用者が現在700万人で、在宅の方が75%。もともとは高齢者の在宅支援を目的としていました。私の身内は施設に入所後何年にもなりますが、今でも家に帰ると言つて荷物をまとめることがあるそうです。やっぱり住み慣れた家がいい▼団塊世代(1947年4月2日~1950年4月1日)が後期高齢者になる2025年にはその割合が全人口の18%になると言われています。約5人に1人です。情報が報じられない中ですが、高齢者としての自覚を持ちたいです。

出来立ての頃はこの制度を必要とされる方を各市町村でさがしていたようです。

それぐらい力が入っていたんですね。この介護保険は、今まで外から見えなかったそれまでの家族内での介護の闇・高齢者虐待等を暴いてきたんですね。そんな効果があった。ところが、それから3年毎に7回改定されてきて、ひどい内容が示され危機感をいただいた方々が2020年1月「史上改悪介護保険改定を許さない」とオンライン集会を持たれた。介護に関わる沢山の団体(上野千鶴子さん、樋口恵子さんが呼びかけ)で総出で。またいつ何時その動きが、という状況らしいです。年々使い勝手が悪くなっている。ちなみに介護保険料は40歳から



支払いが発生し、要介護認定を受けた上で一般的には65歳から介護サービスを利用できま

す。若い頃には介護保険料を払っていても考えたことがありませんでした。

当事者として

今回初めて介護保険のことに目を通しました。ほとんど知らないことばかりで、情けなかったです。無知でした。これから今の場所で住み続けようとするならば、当事者として学ばなければと思いました。以前のように自由に歩けなくなったら、食事を作ることが億劫になったらその時どうしたらいいのか考えてみませんか。この介護保険を使って住み続けられるのではないかと。

先のコロナ禍で施設等で働かれる介護職員の方々は本当に辛く苦しかったと思います。実際の話ですが「他府県の人には会ったら駄目」とか。でも、給料は安い。特にホームヘルパーの方を募集しても、人が集まらないそうです。実態を共に学びませんか。目的は今の場で生き続けるために。

パッチワーク講習会3



6日 前月からの続きで3回目です。それ

絵手紙講習会



12日 次回の絵手紙展は来年の4月頃かなあと講師の森本玲子さんからお聞きしました。お一人お一人の描き方が本当に異なっていて

パソコン教室



理科の実験フタバ蝶々



21日 フタバで蝶々を作りました。木下章司さんはたくさん見本を作って下さっていて参加

者の方々は蝶々の色塗り頑張りました。コンビニのお弁当のふたをトースターで焼

<7月にこんなことをしました>



までにできた方もおられました。(写真)西角千代子さんと前川和子さんには随分お世話になりました。中々理解できずにいて、他の方のミスをよく聞いて、気持ちを引き締めて取り組んだつもりですが、私たちには一筋縄ではいきません。でも諦めず

によく見て下さいました。ありがとうございました



見ていて面白いと思います。描くという作業は植物や花を細かく見る必要があるので色々発見があつてそれも楽しいです。

17日 (写真日)パソコン教室と言っても他のお話が多く、まるごと館館に来られる方とも会話が弾み楽しんでおられます。WordやExcelの基本的なことなら参加していただけます。パソコンを開けてやってみたいという方どうぞお越しください。お待ちしております。



けば元の厚いプラ板になり

ます。小さくなりますが。楽しい時間でした。次は金魚です。宮地さんもありがとうございました。



オカリナひまわり

24日 写真はありません。暑い中の練習で大変です。夏場はいつもお休みにしていますが、今年は特に猛暑が続いています。12月11日(月)にI0の伊佐さんと岡田さんにまるごと館に来ていただきクリスマスコン

ハ幅まるごと館 8月・9月の予定 休館 8月11日(金)~8月17日(木)

<パソコン教室> 毎週月曜日 10時~12時です
8月21日(月)10時~12時 パソコンを持って来て下さい。 費用 300円(コーヒーつき)

<オカリナクラブ ひまわり> 楽しめる時。8月7日、14日は休みます

8月21日(月)13時~ 参加費100円

<歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N032>

8月24日(木)13時30分~ 講師出口修さん 参加費100円 月1回です

<映画上映会 生きるJ> モノクロ 143分 時間が長いので早くから始めます

8月25日(金)13時~ 志村喬 黒澤明監督 参加費100円

<絵手紙講習会> 8月はお休みです

9月13日(水)午後1時30分~ 講師 森本玲子さん 参加費 400円(コーヒーつき) 次回は10月11日(水)です

<楽しい理科の実験 N051 フタバ 51 金魚>

9月22日(金)13時30分~ 講師 木下章司さん 参加費 300円(コーヒーつき) 持ち物 色鉛筆、ハサミ

<あんなこと・こんなこと>

* 今までの3年間のコロナ禍でも講座を何度もお休みにしてきましたが、この7月末にも急に講座をお休みにしました。八幡の歴史、オカリナ、パソコン、映画上映です。コロナ感染がとて身近なものになって7月末以降野菜販売だけで過ごしてきました。色々反省の日々でした。

* 大阪関西万博が2025年4月3日から2025年10月13日開催と言われています。予定されている夢洲は人工島で、1977年廃棄物処分地として使われた。今回の台風でどうなっているか気になる所です。そんな所に建物を建てるのは至難の技です。体に悪いものが出てくるようで、そこで作業される方々が

心配になります。書いたらきりがなくらいです。パビリオン建設が開幕に間に合うかどうかは結構言われていますが、新聞テレビでは余り報道されません。資材等の高騰、2024年残業規制問題等で開催が可能なのか、初めの設定よりかなりの額必要になり、膨大な税金が投入されるのでは。「身を切る改革」が泣きます。

* 介護保険のお話で参考にしたのは上野千鶴子さんの「在宅ひとり死のススメ」です。長い間考えて来られたんですね。一朝一夕ではできません。その場で生き続けるのに大事なほうまく介護保険制度を利用することや人と人のつながりが欠かせません。

* 気候が完全に変わってきました。台風による被害も年々ひどくなってきています。地球上どこでも。今テレビで「異常気象がニューノーマルになった」と伝えています。(うえたにじゅんこ)